

天日 公子

(民主クラブ)

高齢者の介護支援
ボランティアのポイント化を

問 昨年5月に、厚生労働省老健局介護保険課から、65歳以上の方が介護支援のボランティアをしたとき、活動実績をポイント化し、ポイントで介護保険料を納め軽減できるなど、「介護支援ボランティア制度」の導入を決め、全国の市町村に通知された。この仕組みは、官の有償ボランティアといえるもので、ボランティア活動による地域貢献をはじめ、参加者本人の健康増進効果も期待されている。介護予防事業の一般高齢者施策として限られた範囲であり、市町村の裁量によるものである。高齢者の介護支援ボランティア活動に対し、ポイント制度導入の活動支援をどのように考えているか。

答 高齢化社会において非常に課題が大きく、地域社会で支えあう制度が必要と十分認識して

いる。意向をふまえて、調査の実施をして行く。

ふらっと利用者の駐車場は

問 昨年から開館された、ふらっと利用者に対して、駐車場をどのように考えているのか。

答 土地区画整理事業の最終年度として東2条・朝日通交差点角に市民駐車場として30台を整備。



ふらっと駐車場整備

学校図書館の地域開放は

問 地域・父母への開放は。

答 地域・保護者に開放することとは大変意義あると認識している。今後校長会などに話題を提示しながら、できるだけ開放し、いけるように検討して行く。

横山 久仁雄

(市民連合)

樹海東小学校の跡地活用は

問 樹海東小学校の跡地活用にオーガニックアカデミー構想を採択した行政目的と内容は。

答 地域経済の活性化、雇用の確保、農業振興などの面から選定した。栽培技術などの人材育成、安全安心、高品質な農産物の生産・供給する環境づくりと考えている。

施設改修は

問 オーガニックアカデミーは農業研修や研究の学校にとどまらず、修学旅行生を受け入れる様な観光農園、農産物加工まで行うことになっている。現在、その様な設備になっていない。今後の計画は。

答 (株)ジャパンバイオファームでは「来年度からの事業計画については10月位までに市に提案する」としている。

受講生確保の対策は

問 当初計画では20名を予定していたが、現時点の受講生は2名である。カリキュラムも出来ていないと聞くが、運営内容の把握が不十分ではないか。今後の受講生確保対策は。

答 開校に向けたカリキュラム整備や講師体制、長期研修生の宿泊施設の一部に取組みの遅れがあり、広く募集できなかった。運営内容は、有機栽培の基礎、パソコンによる農業簿記や経営などのカリキュラムが用意されている。今年度は、短期研修の受講生を募集。来年度に向け、研修カリキュラムと講師体制、宿泊施設の整備を図り、ホームページ、農業を通じたPR活動を行い受講生を確保する。



樹海東小跡の利活用